

オトコゼリ(キンポウゲ科)

Ranunculus tachiroei Franch. et Savat.

兵庫県：Bランク

環境省：-

種の概要

川岸や田の縁など、日当たりのよい泥地にはえる多年草。茎は直立し、高さ35-100cmで、中部や下部には葉柄とともに開出するあらい毛が密生し、上部はよく分枝し、伏毛が多い。葉は2回3出複葉、両面に伏毛がある。根出葉は幅6-12cm、第2小葉はさらに3-5中～深裂する。茎葉は根出葉と同形だが、上部のものは1回3出状となる。花は径10-15mm、萼片は長さ4-5mmで、外側にあらい毛が多く、花時に反曲する。花弁は楕円形で、萼片より長い。花期は5-8月。

国内分布

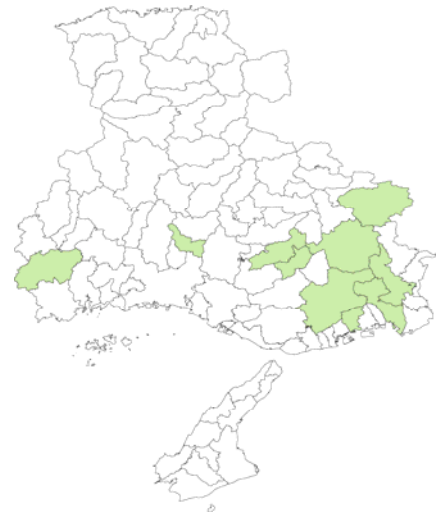
本州

県内分布

上郡町、福崎町、社町、東条町、篠山町、三田市、神戸市、宝塚市、西宮市

選定理由

人為性		特殊性		学術性		
生育環境破壊	観賞用等採取	特殊生育環境	特異な生態	特殊な分布	分布の限界	希少
○						○



特記事項

休耕田化や開発により、産地が局限されている。2009年版での追加種。

保護上の留意点

生育地の保全